

大学と連携 研究成果を市政に

県立広島大学の専門的な分野における研究成果を市政に活用するため、市の助成を受けて大学の研究者が取り組んだ研究開発成果の報告会が、4月17日に行われました。

昨年度、助成対象事業として、ライフステージごとの子育て支援、特定高齢者の介護予防モデル、肥満予防プログラム、佐木島の自然を生かした健康づくりの4件が選ばれました。

佐木島の自然を活用した研究課題では、砂浜ウォーキングの健康増進効果に加え、島の周遊という観光集客面での効果も期待できます。

今後、具体的な市の施策として、具体化・実用化に向け検討していくことになります。



▲保健・福祉・医療の分野を中心にアンケートや実験結果を示す発表者

税部門の強化と協働のまちづくりを推進

税部門の強化のため、財務部に財務・税担当参事をおき、参事をリーダーとして、市民税課・資産税課・収納課の3課からなる市税対策チームを設置しました。3課間の応援体制を組むなど、柔軟な対応ができる一体的な組織づくりにより、課税・徴収事務に取り組みます。

今月から、個人住民税の併任徴収制度を導入しました。これは、県職員2人が市の併任職員となり、個人住民税の滞納分の徴収業務にあたるものです。

また市民参画による、市民と行政の協働のまちづくりを一層推進するため、地域振興部に地域振興担当参事をおきました。今年度、地域振興担当参事を中心として、市民協働のまちづくり指針と、住民自治在り方基本構想の策定に取り組みます。



女性消防団員が誕生!



▲敬礼!礼式の訓練をする女性消防団員

4月15日、消防本部で消防団入団式が行われました。

新入団員を代表して、頼兼二丁目の山田雅子さんが「消防団員として規律を守り、安心・安全なまちづくりに努めます」と宣誓を行いました。

11人の女性消防団員は、消防団本部に配属され、負傷者の手当てや防火訪問活動などにあたります。

三原都市開発株式会社が解散

JR三原駅前にあるペアシティ三原を管理する、市の第3セクター三原都市開発株式会社が、3月31日で解散しました。

4月1日から、ペアシティ三原西館の管理業務などは、ペアシティ三原管理組合が引き継いでいます。



▲昭和56年にオープンしたペアシティ三原の東館と西館